

令和5年の土砂災害

Sediment-related
disasters in 2023



国土交通省砂防部

令和5年の土砂災害

Sediment-related
disasters in 2023



国土交通省砂防部

【表紙写真の説明】

- ① 令和5年7月に福岡県久留米市で発生した土石流
- ② 令和5年7月に大分県日田市で発生した流木を捕捉した張出しタイプ
流木捕捉工
- ③ 令和5年7月に佐賀県唐津市で発生した土石流

- P 1 : 令和 5 年 全国の土砂災害発生状況
 - : 土砂災害発生件数の推移 (S57~R5)
- P 2 : 近10年の土砂災害発生件数及び人的・家屋被害件数
 - : 近 5 年の月別土砂災害発生件数
- P 3 : 令和 5 年の火山活動について
 - : 令和 5 年全国の積雪・融雪による土砂災害発生状況
- P 4 : 台風に伴う土砂災害発生件数の推移 (S57~R5)
 - : 令和 5 年 台風第 2 号による土砂災害発生状況
- P 5 : 令和 5 年 6 月29日からの大雨
 - : 令和 5 年 6 月29日からの大雨による土砂災害発生状況
- P 6 : 福岡県久留米市田主丸竹野地区千之尾川の土石流災害
 - : 佐賀県唐津市浜玉町今坂地区の土石流災害
- P 7 : 令和 5 年の土砂災害専門家による技術的助言等の実施状況
 - : 福岡県久留米市田主丸町竹野の土砂災害専門家派遣
- P 8 : 令和 5 年 7 月10日の大雨による災害 TEC-DOCTORの派遣
 - : 令和 5 年 7 月10日の大雨による災害 TEC-FORCE (砂防班) の派遣
- P 9 : 令和 5 年度 災害関連緊急事業等の採択状況
 - : 災害関連緊急事業の早期着手 ~部分申請の活用~
- P10 : 災害関連緊急事業 応急的な対策事例 (静岡県浜松市)
 - : 災害関連緊急事業 応急的な対策事例 (長野県飯田市)
- P11 : 土砂災害発生時の初動対応 (令和 5 年奥能登地震)
 - : 土砂災害の発生のおそれに関する情報等を活用した早めの避難により被害を逃れた事例
- P12-15 : 施設効果事例
- P15 : 令和 5 年土砂災害発生状況 都道府県別内訳

土砂災害発生件数
1,471件

〔土砂災害〕
土砂災害等：125件
地すべり：57件
がけ崩れ：1,289件

【被害状況】
人的被害：死者 8名
負傷者 19名
家屋被害：全壊 30戸
半壊 21戸
一部損壊 211戸

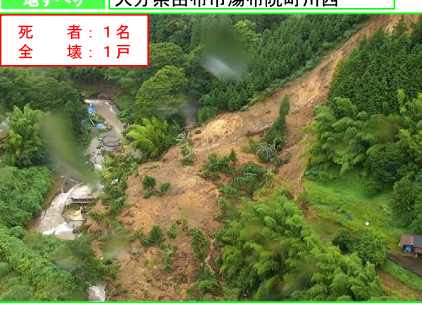
7/10 土砂災害等
福岡県久留米市田主丸町竹野

死者：1名
負傷者：5名
全壊：8戸
半壊：2戸



6/30 地すべり
大分県由布市湯布院町川西

死者：1名
全壊：1戸



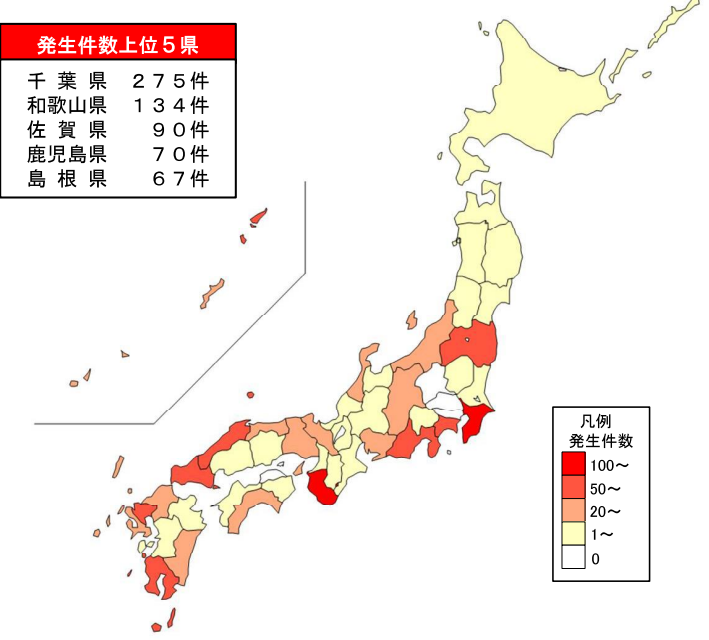
9/8 がけ崩れ
千葉県市原市月出

負傷者：1名
一部損壊：1戸



7/10 土砂災害等
佐賀県唐津市浜玉町平原

死者：3名
全壊：2戸



6/2 土砂災害等
和歌山県有田郡有田川町二澤

半壊：1戸
一部損壊：1戸



6/21 土砂災害等
鹿児島県大島郡瀬戸内町久慈



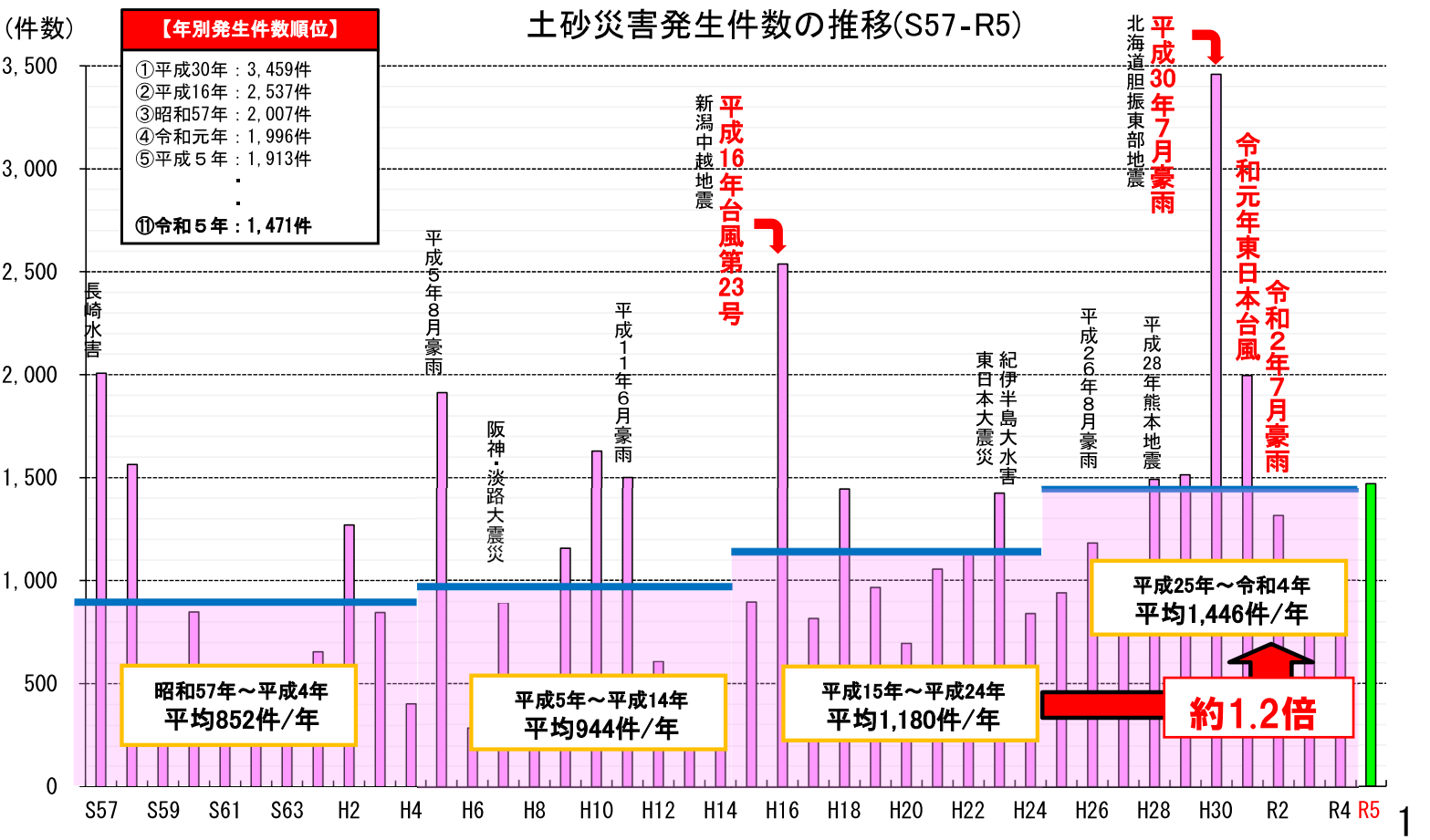
7/8 がけ崩れ
島根県雲南市木次町

一部損壊：1戸



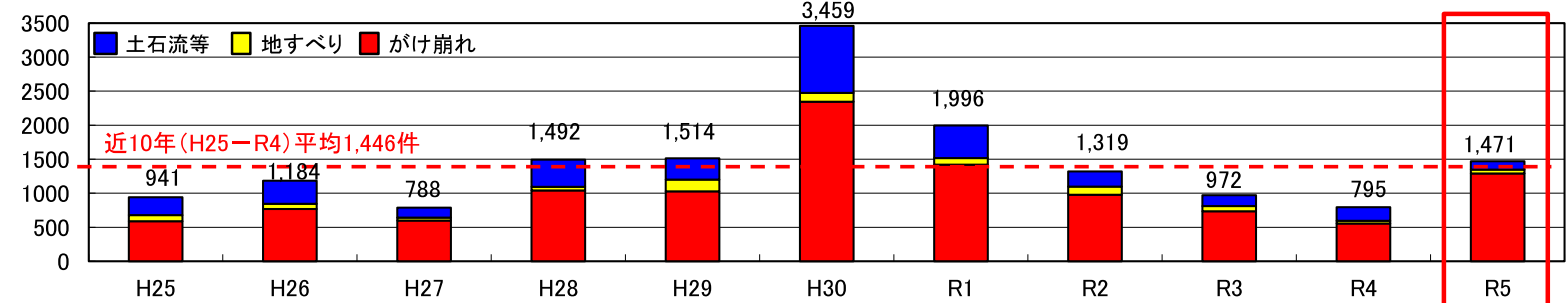
土砂災害発生件数の推移(S57～R5)

令和5年1月から12月の1年間に発生した土砂災害は1,471件であった。土砂災害は43道府県で発生した。

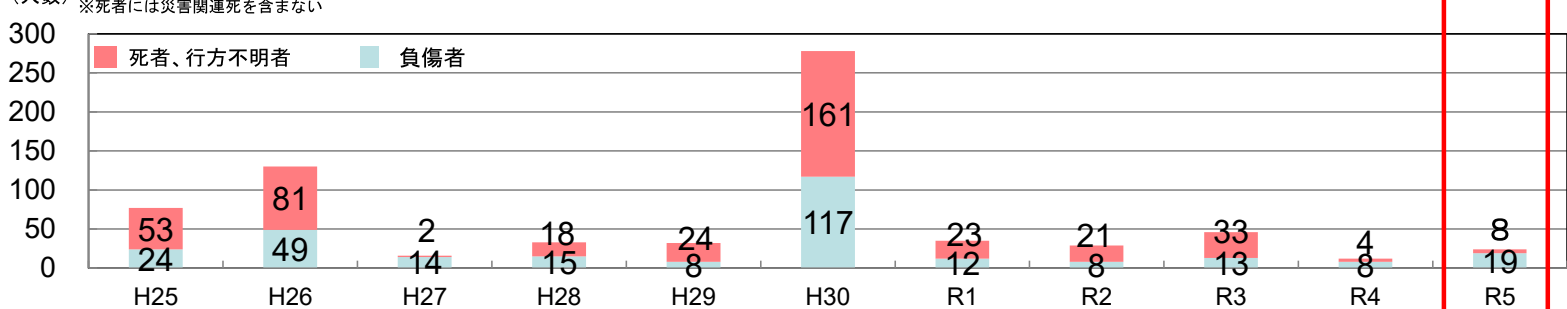


近10年の土砂災害発生件数及び人的・家屋被害件数

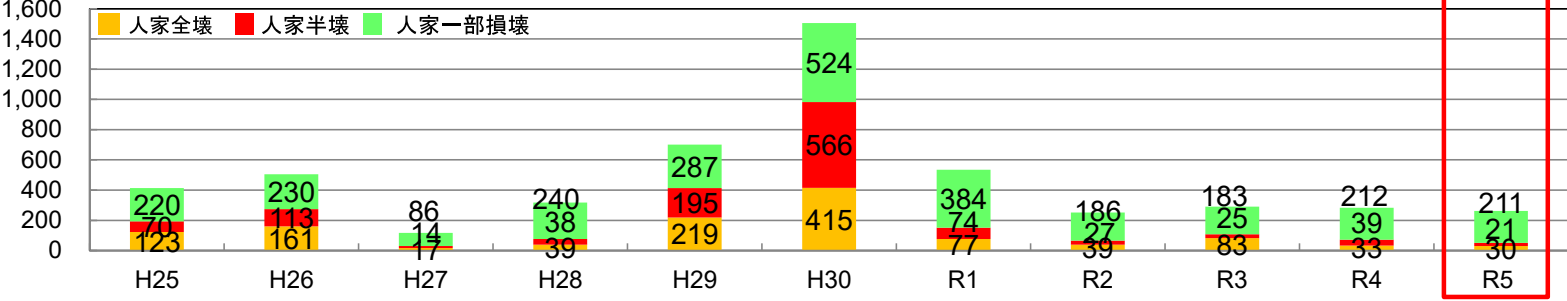
【土砂災害発生件数】



【人的被害者数】



【家屋被害戸数】

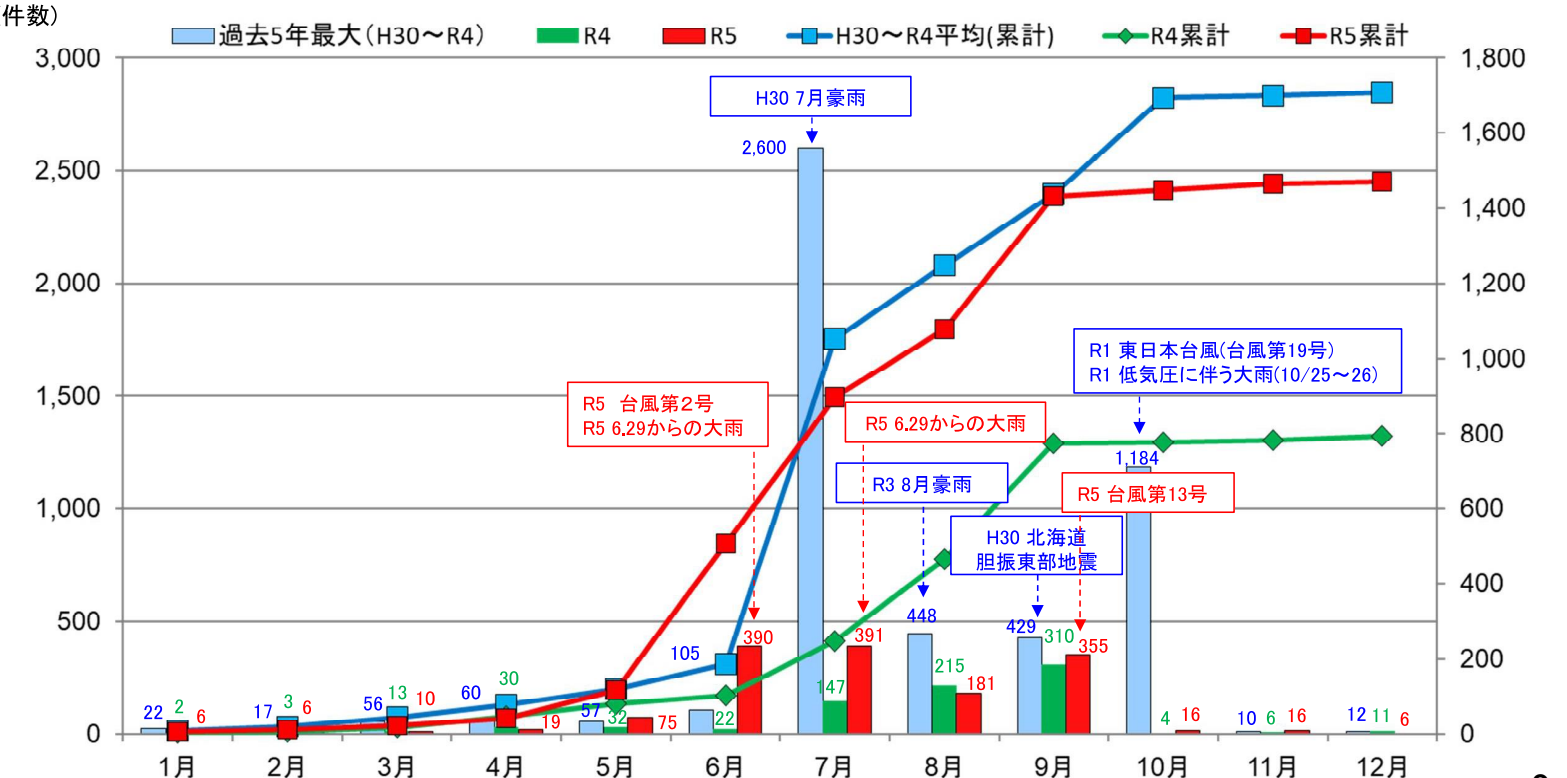


近5年の月別土砂災害発生件数

棒グラフは、近5年の最大及び令和4年、令和5年の月毎の発生件数を示す。
折れ線グラフは、近5年平均及び令和4年、令和5年における発生件数の累計値を示す。

H30～R4平均: 1,852件
R4: 795件
R5: 1,471件

(累計件数)



最近の主な火山活動

【直轄砂防】桜島(レベル3)

令和4年7月27日にレベル3が発表され、その後令和5年も活発な活動が継続。



令和4年7月24日の火山活動

● 令和4年7月24日に、噴石を約2.5km飛ばす噴火が発生し、気象庁において噴火警戒レベルを「5」へ引き上げた。
● 国土省では、噴火に伴う降灰後土石流等への迅速な対応のため、カメラによる監視・配信を実施。



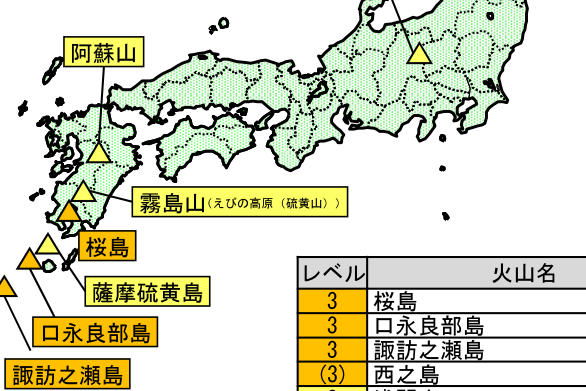
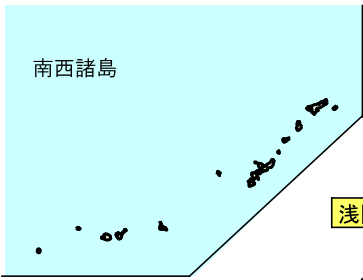
諏訪之瀬島(レベル3)

爆発回数が多発するなど活動が活発化、令和5年3月5日にレベル3へ引上げ。



令和5年に噴火警報が発表された火山※
(令和5年中の最も高い噴火警戒レベルが2以上となった火山)

※過去に発表された噴火警報が令和5年まで継続されていた場合を含む
※海底火山を除く



現在までに実施された緊急調査
(降灰後土石流を対象とするもの)

H23.5~25.10 霧島山(新燃岳)
H23.5~ 桜島
H26.9~27.6 御嶽山

緊急カメラの設置事例

伊豆・小笠原諸島

西之島
硫黄島

令和5年中の最高の噴火警戒レベル

Lv5
Lv4
Lv3
Lv2

レベル	火山名	期間
3	桜島	R4.7.27~
3	口永良部島	R5.6.27~
3	諏訪之瀬島	R4.9.28~R5.1.24、R5.3.5~R5.6.9
(3)	西之島	R1.12.5~
2	浅間山	R5.3.23~
2	阿蘇山	R5.1.30~R5.3.23
2	霧島山(えびの高原(硫黄山))	R5.7.7~R5.12.6
2	薩摩硫黄島	R1.11.2~
(2)	硫黄島	H19.12.1~

* 令和5年中でもっとも高い噴火警戒レベル及びその期間
* 噴火警戒レベルが導入されていない火山は、()で相当するレベルを表示

令和5年 全国の積雪・融雪による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

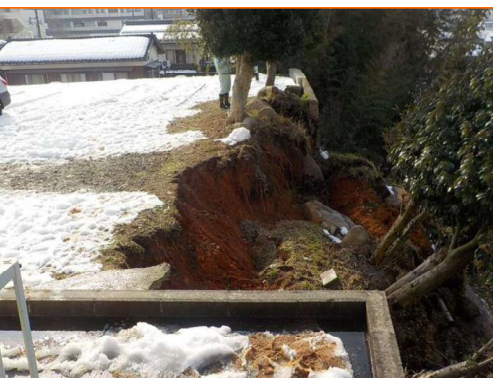
9件

土石流等： 1件
地すべり： 7件
がけ崩れ： 1件

都道府県別発生件数

新潟県 6件
長野県 1件
福井県 1件
島根県 1件

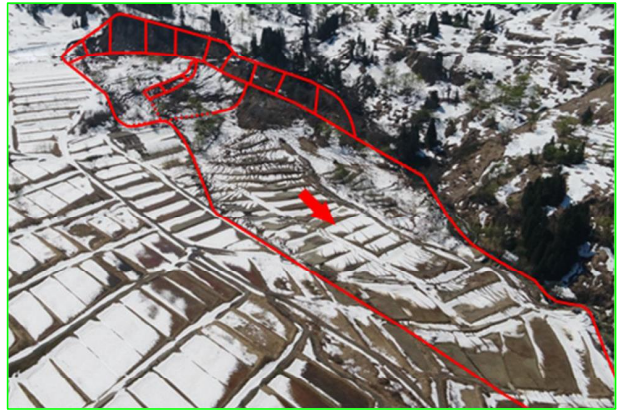
2/2
がけ崩れ 島根県松江市菅田町



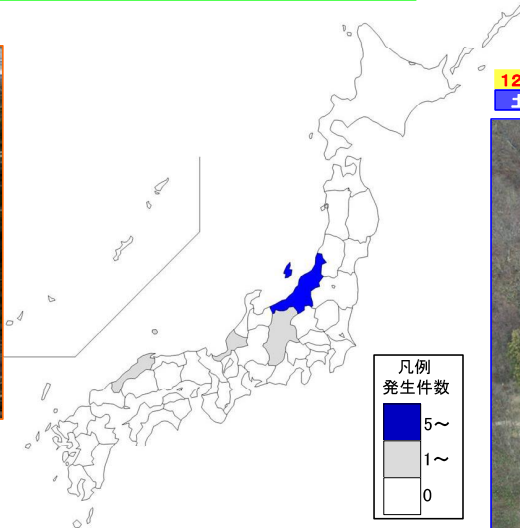
3/13
地すべり 福井県大野市上打波



4/1
地すべり 新潟県糸魚川市大字北山



12/16
土石流等 長野県北安曇郡白馬村北城

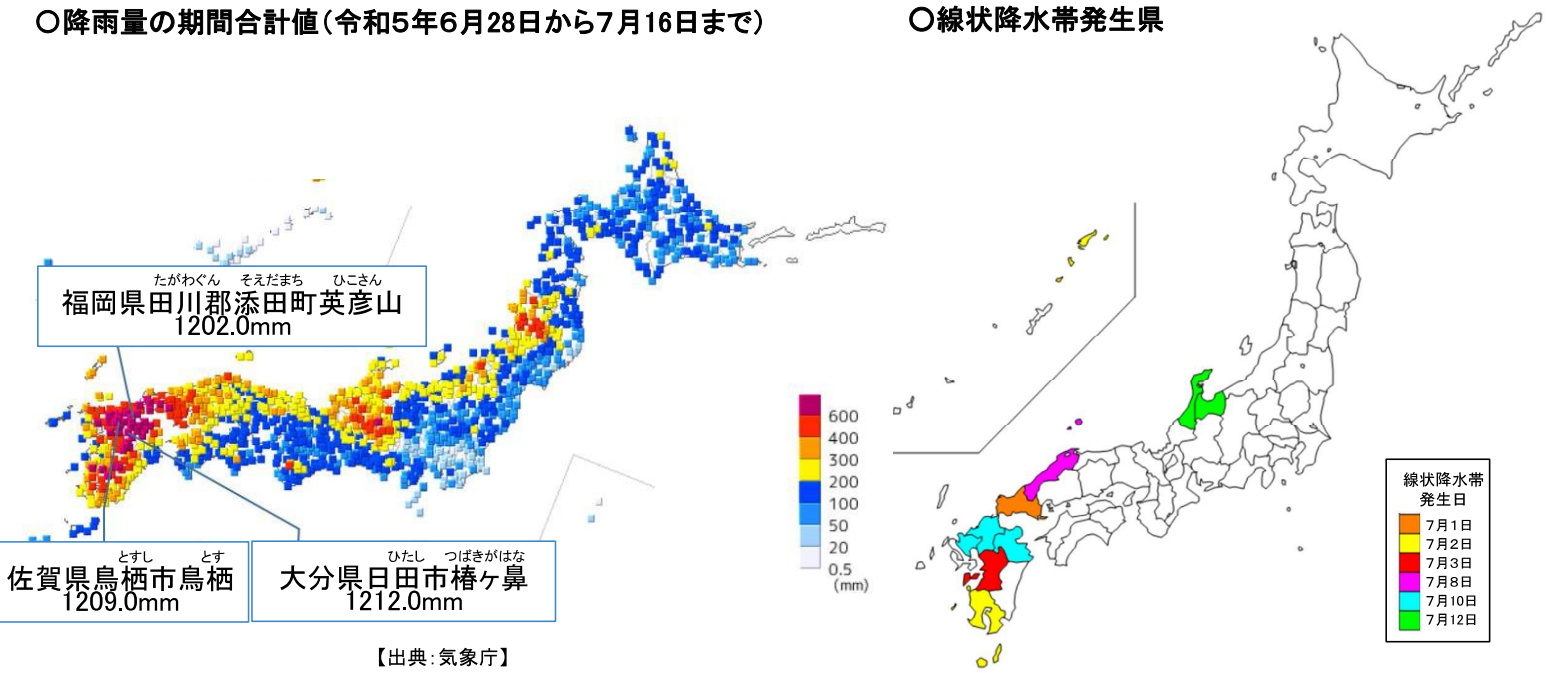


凡例
発生件数
5~
1~
0

- 梅雨前線の活発な影響により7月1日から13日にかけて山口県、鹿児島県（奄美地方）、熊本県、島根県、福岡県、佐賀県、大分県、石川県、富山県の9県で線状降水帯が発生するなど、広範囲で大雨となり、7月14日から16日にかけては秋田県を中心に記録的な大雨となった。
- 全国22県で土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が397件発生し、死者7名、負傷者14名、人家被害93戸の被害が発生した。

○降雨量の期間合計値(令和5年6月28日から7月16日まで)

○線状降水帯発生県



令和5年6月29日からの大雨による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数 397件

土石流等	29件
地すべり	9件
がけ崩れ	359件

【被害状況】

人的被害	死者 7名
	負傷者 14名
家屋被害	全壊 21戸
	半壊 11戸
	一部損壊 61戸

7/10 土石流等 福岡県久留米市田主丸町竹野

死者：1名
負傷者：5名
全壊：8戸
半壊：2戸

7/15 がけ崩れ 秋田県秋田市添川

負傷者：4名
全壊：2戸
一部損壊：2戸

7/13 がけ崩れ 富山県南砺市砂子谷

死者：1名
一部損壊：1戸

7/10 がけ崩れ 福岡県福岡市西区愛宕

一部損壊：1戸

7/10 土石流等 佐賀県唐津市浜玉町平原

死者：3名
全壊：2戸

6/30 地すべり 大分県由布市湯布院町川西

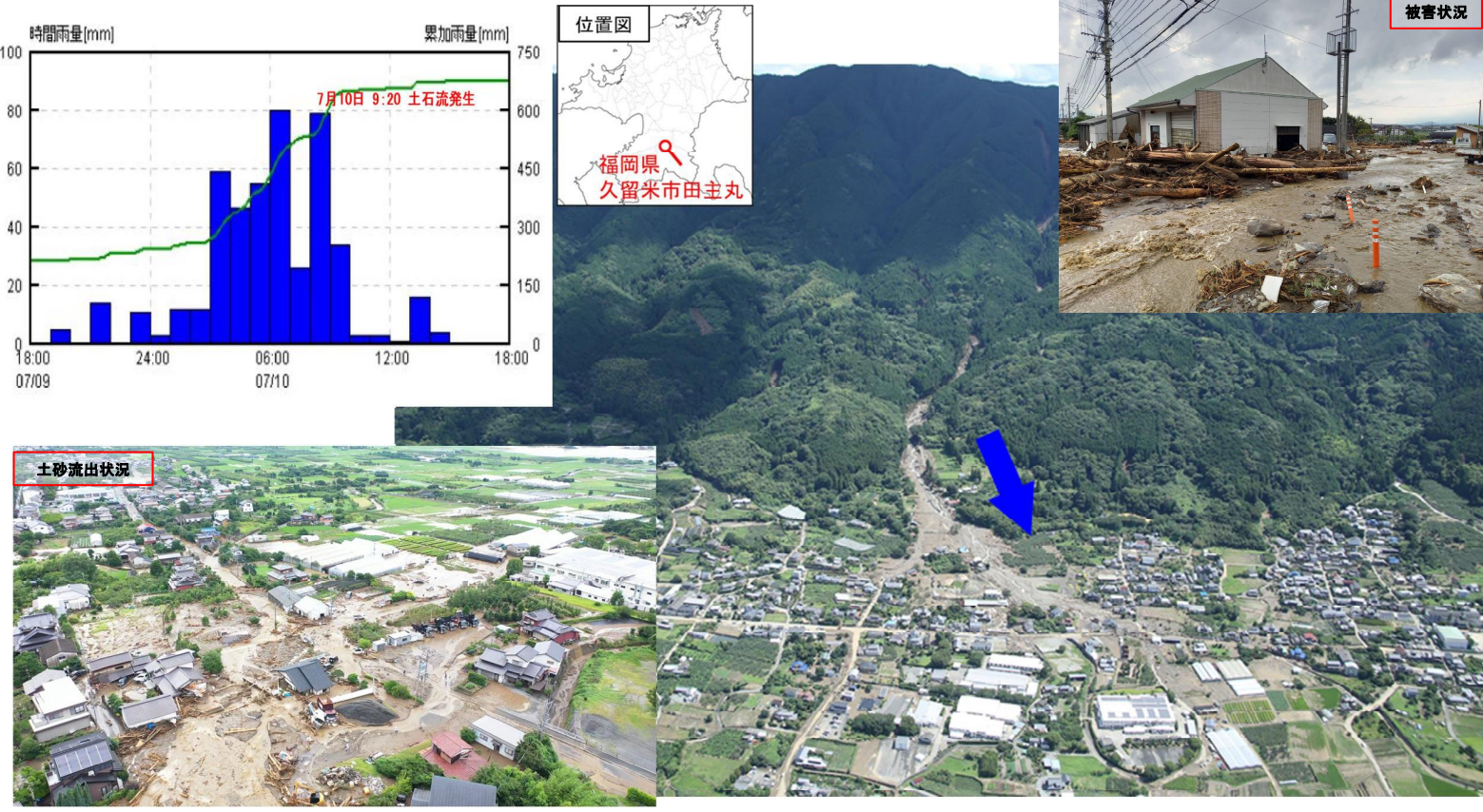
死者：1名
全壊：1戸

発生件数上位4県

佐賀県	87件
山口県	57件
島根県	56件
福岡県	40件

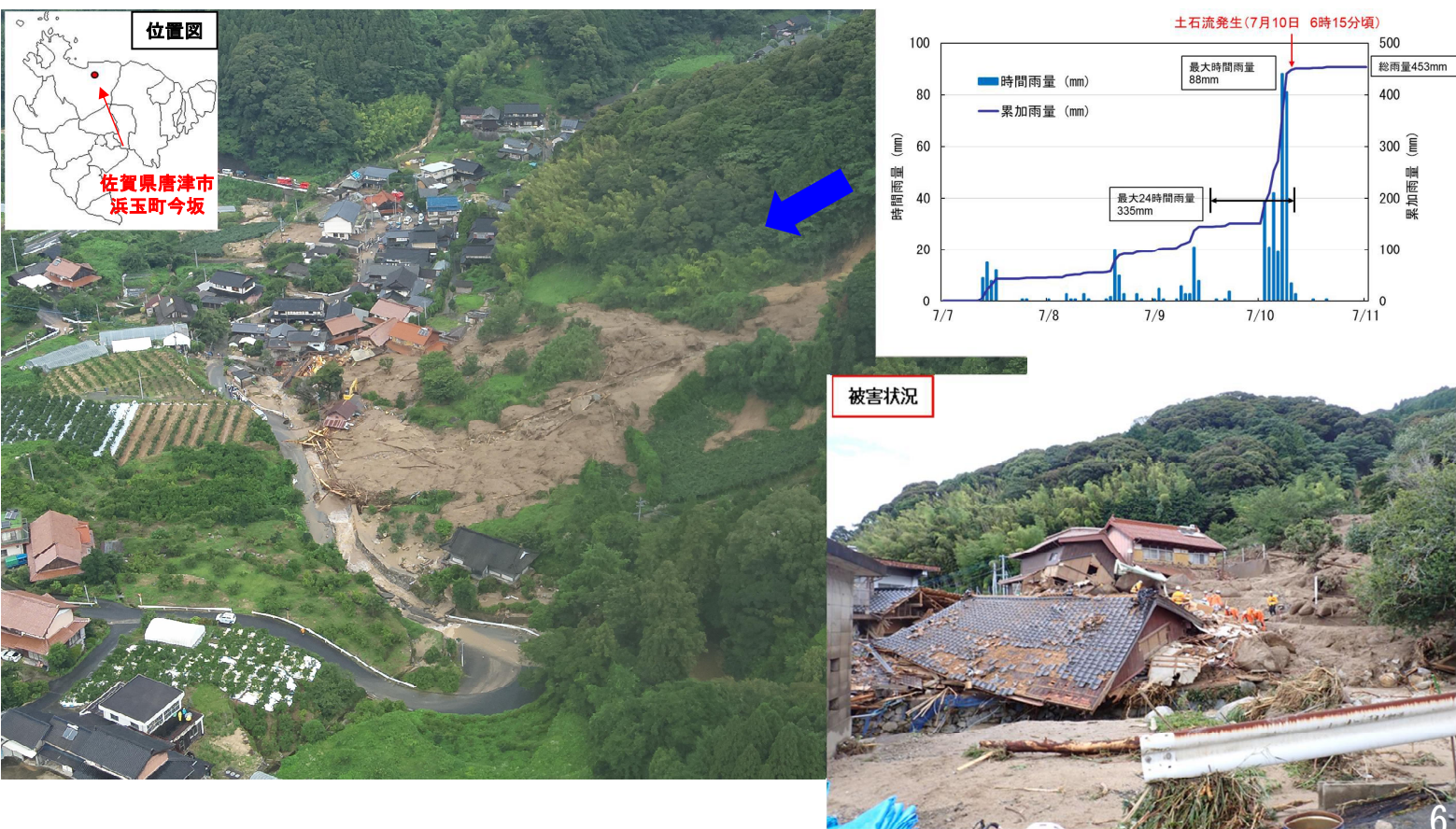
福岡県久留米市田主丸町竹野地区千之尾川の土石流災害

○令和5年7月7日から10日にかけての大雨により、福岡県久留米市田主丸町竹野の千之尾川で土石流が発生。
 ○死者1名、負傷者5名、家屋全壊8戸、家屋半壊2戸の甚大な被害が発生。



佐賀県唐津市浜玉町今坂地区の土石流災害

○令和5年7月7日から10日にかけての大雨により、佐賀県唐津市浜玉町平原字今坂で土石流が発生。
 ○死者3名、家屋全壊2戸の甚大な被害が発生。



- 全国各地で発生した土砂災害に関して、都道府県等からの要請により、土砂災害専門家を派遣し、警戒避難や応急・恒久対策の考え方等について技術的助言を実施。
- 令和5年は台風第2号(6月)及び7月豪雨等による災害への対応のため、土砂災害専門家として国土技術政策総合研究所・国土技術政策総合研究所大規模土砂災害対策技術センター・土木研究所の職員を現地に派遣。

6月2日発生 和歌山県紀の川市下瀬地すべり

- 和歌山県からの要請
- 対応期間：6/8
- 対応職員：国総研（大規模土砂災害対策技術センター）1名
- 対応結果：現地にて被災状況を確認後、警戒避難体制等について技術的助言を実施。



現地での技術的助言

6月2日発生 大阪府柏原市国分東条町法面崩落

- 近畿地方整備局からの要請
- 派遣期間：6/3
- 派遣職員：国総研（大規模土砂災害対策技術センター）1名
- 派遣結果：現地にて被災状況を確認後、今後の対策等について技術的助言を実施。



現地での技術的助言

7月10日発生 福岡県久留米市田主丸町土石流

- 福岡県からの要請
- 対応期間：7/13-14
- 対応職員：国総研2名、土研2名
- 対応結果：現地にて被災状況を確認後、今後の対策等について技術的助言を実施。



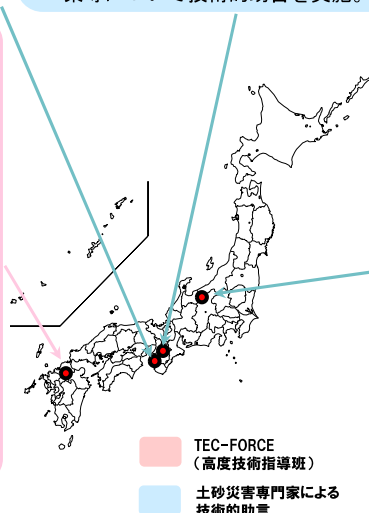
被害状況の調査



調査結果の報告



現地での技術的助言



12月16日発生 長野県白馬村黒豆沢土石流

- 長野県からの要請
- 派遣期間：12/21
- 派遣職員：国総研 1名
- 派遣結果：オンラインにて被災状況を確認後、今後の対策等について技術的助言を実施。

はくばむら くらまめさわ

福岡県久留米市田主丸町竹野の土砂災害専門家派遣

- 福岡県からの要請にもとづき、国土技術政策総合研究所及び土木研究所の職員を土砂災害専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）として現地に派遣。福岡県との合同現地調査後に、災害応急対策等の技術的助言を実施。

○現地調査状況



元の流路工



【土砂災害専門家】

- ・ 国土技術政策総合研究所
砂防研究室 室長、主任研究官
- ・ 国立研究開発法人土木研究所
土砂管理研究G上席研究員、交流研究員

合計4名

○福岡県砂防課への技術的助言



災害応急対策として、以下の項目の検討を助言。

- ・ 左岸崩壊地の詳細な調査が必要。その上で、必要に応じて、伸縮計の設置、ワイヤーセンサー等の設置
 - ・ 下流流路工の開削
 - ・ ワイヤーネット等の応急的な砂防施設の整備
 - ・ 当面、千之尾川周辺の今回の大雨で崩壊が発生した流域においては、土砂災害警戒区域及び土砂が氾濫した範囲の住民に対し、警戒基準を引き下げた警戒避難体制の整備
- ⇒別途、久留米市、福岡県、九州地方整備局で構成する久留米地区土砂災害情報連絡会に参加し、技術的支援を実施

令和5年7月10日の大雨による災害 TEC-DOCTORの派遣

- 令和5年7月10日の大雨により、佐賀県唐津市浜玉町平原今坂において土石流が発生し、全壊2戸、死者3名の被害が発生。
- 現地状況の詳細な把握のため、TEC-Doctorの水野准教授(九州大学大学院)が現地調査を行い、救助活動時の安全対策への助言等を受けた。

TEC-Doctorによる現地調査(令和5年7月10日)



【今回の土砂災害について】

- マサ土と思われる細かい土砂を主としたもの及び流木が20本くらい流出している。
- 堆積地にある岩(1~2m)は、元々その場に存在していたものと思われる。
- 崩壊地を見た訳ではなく正確ではないが、表層崩壊に起因した土石流と思われる。

【救助活動時の安全対策への助言】

- 今後降雨が生じないようであれば、土石流は起きないと考えられる。
- 救助活動中は、降雨レーダーによる雨域の監視と土砂移動の現象が見やすい安全な場所で見張り員をたて、異常が認められた場合には、直ちに中止するなどの措置をとる。(ただし、土石流センサーをつける場合は不要と思われる)
- 現場内の土石の撤去については、マサ土が1~2m程度堆積しているという状況から、雨水を含んでいる場合は非常に崩れやすい性質があることから、重機による作業や転石付近の作業時には注意が必要である。

令和5年7月10日の大雨による災害 TEC-FORCE(砂防班)の派遣

- 令和5年7月10日の大雨による災害発生直後、TEC-FORCE派遣要請を受け、TEC-DOCTORと共に九州地方整備局より佐賀県唐津市浜玉町平原今坂にTEC-FORCE(砂防班)2名を派遣し、被災状況調査や唐津市長への説明等を実施。

被災状況調査



佐賀県と現地状況の確認



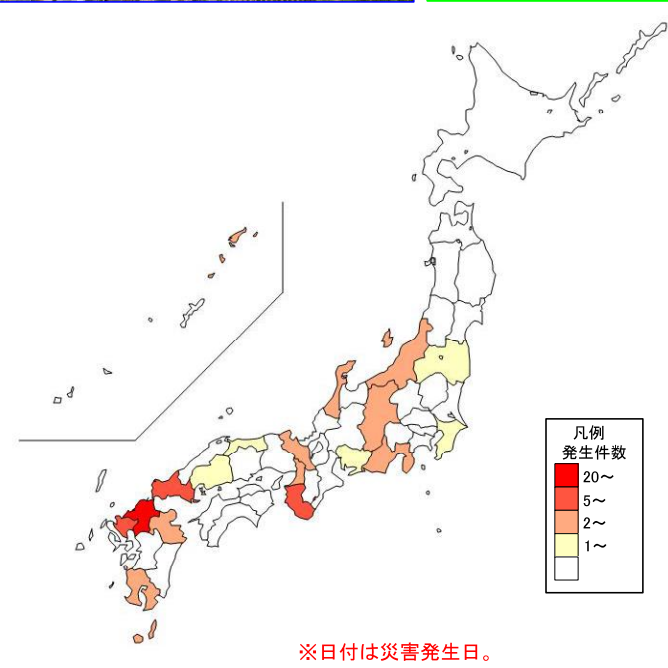
唐津市長への説明



令和5年度 災害関連緊急事業等の採択状況

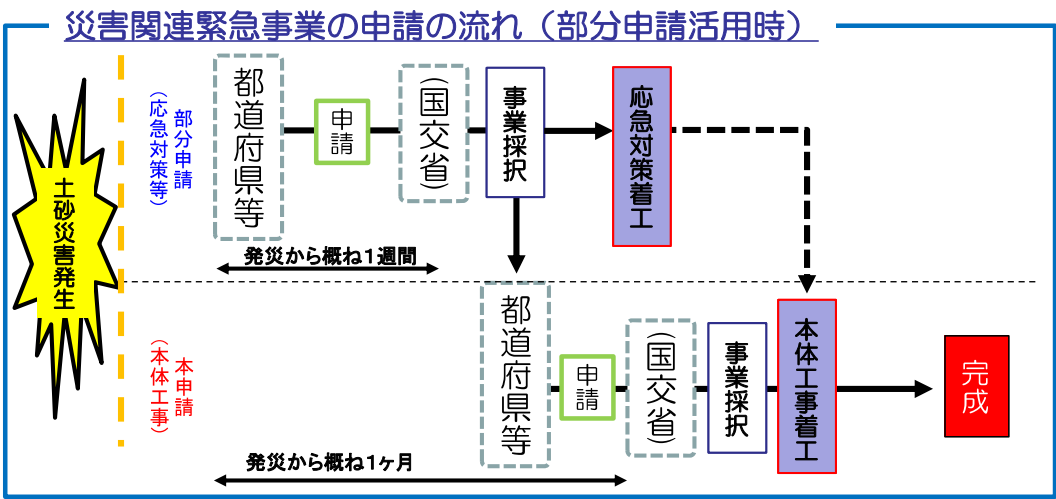
事業主体	事業名	箇所数
直轄	砂防災害関連緊急事業	0
	地すべり対策災害関連緊急事業	0
小計		0
都道府県等	災害関連緊急砂防事業	22
	災害関連緊急地すべり対策事業	6
	災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業	5
	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	28
小計		61
合計		61

(参考) 令和4年度 30箇所



災害関連緊急事業の早期着手 ～部分申請の活用～

○石川県、長野県、静岡県、愛知県、和歌山県、福岡県、大分県の7県11箇所においては、災害関連緊急事業の部分申請を活用することにより、アンカーネット等による緊急的な安全確保対策や緊急的な排水工等、迅速な応急対策が実施された。



緊急的な安全確保対策



導流堤を設置し、保全対象に土石流が流下することを防ぐ。

災関砂防の例（長野県飯田市）

緊急的な排水対策工等の実施



地下水位を下げるため、応急的に横ボーリング工を実施（左写真）。
地すべりにより河道を閉塞していたため、仮排水路工を実施（右写真）。

災関地すべりの例（静岡県浜松市）

災害関連緊急事業 応急的な対策事例(静岡県浜松市)

- 令和5年6月2日に静岡県浜松市天竜区長沢で発生した地すべりに対して、静岡県が部分申請を活用。
- 応急対策として横ボーリング工、仮排水路工を速やかに整備。



6/7~

現地調査(6/7)
地盤伸縮計設置(6/8)
警報機設置(6/9)
監視カメラ設置(6/10)

地盤伸縮計、警報機設置状況

6/16~

応急的な対策として、応急横ボーリング工、仮排水路工を開始
(横ボーリング工:8/27、仮排水路工10/7完了)
【災関対応】

応急横ボーリング工設置状況

仮排水路工施工状況

7/18~

恒久対策として横ボーリング工、アンカー工の設計等を開始
【災関対応】

アンカー工

横ボーリング工

柵工



災害関連緊急事業 応急的な対策事例(長野県飯田市)

- 令和5年6月2日長野県飯田市大堀沢で発生した土石流に対し、長野県が部分申請を活用。
- 応急対策として仮設導流堤を速やかに整備。



6/2~

現地調査

土石流センサー設置

センサー感知時に周知できるように国道上に回転灯およびサイレンを設置。
6/6完了

回転灯・サイレン設置

6/27~

応急的な対策として、土石流の飛散を防止する仮設導流堤を設置。
8/10完了。【災関対応】

仮設導流堤設置

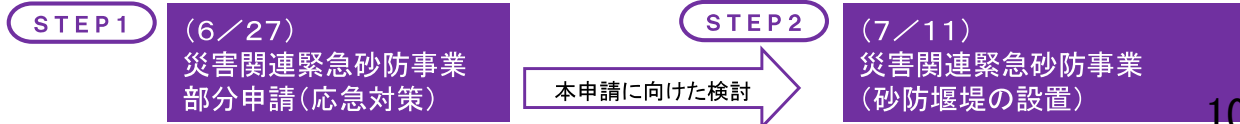
7/11~

砂防堰堤の設置を実施。
工事用道路11/15開始。
【災関対応】

流域内の土砂堆積状況

計画堰堤

仮設導流堤



○地震による緩みを考慮した降雨への備え

揺れの大きかった地域では、雨による土砂災害の危険性が通常より高まるため、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用。
(気象庁と共同で実施)

対象地(震度)	暫定基準の割合
珠洲市(震度6強)	7割(3割引き下げ)
能登町(震度5強)	8割(2割引き下げ)

翌日から降雨が予想されたため、速やかに運用を開始(発災:5月5日14時42分→運用開始:18時00分～)

60分雨量(mm) 60分雨量・土壌雨量指数の推移 通常基準 土砂災害がいつおきてもおかしくないエリア 1時間後の予測 2時間後の予測 土壌雨量指数 通常の基準を2割(3割)引き下げる

○人工衛星を活用した災害箇所の把握

夜間でも観測可能な**人工衛星画像(SAR画像)**を撮影・解析し、**土砂崩れのおそれのある箇所を抽出。**(JAXAと連携して実施)

土砂移動のおそれのある2箇所を抽出し、**現地調査(地整、県)**へ活用した。

○土砂災害発生情報への対応

地震後の雨による被害拡大が懸念されたため、衛星通信車等による**24時間体制での監視体制を整備。**

地元住民から地すべりのおそれありとの情報があつたため、国土交通省職員、県職員及び県派遣の地質系コンサルと合同調査を実施し、変状が無いことを確認。

監視画面

衛星通信車 照明車

北陸地整Tec-Force砂防班の現地調査状況

○ヘリ調査による調査箇所の絞り込み

被害の有無及び二次災害防止の観点から、**ヘリからの目視により確認**を行い、**現地調査箇所を絞り込み。**

北陸地整によるヘリ調査範囲(5月5日～)

ヘリ調査により崩落箇所を確認

県職員による現地調査を実施

土砂災害の発生のおそれに関する情報等を活用した早めの避難により被害を逃れた事例

- 愛知県豊川市御津町や山口県周南市福川地区において、住宅等が巻き込まれる土砂災害が発生。
- これらの大雨では、線状降水帯による大雨の可能性について呼びかけがなされるなど、大雨や土砂災害に関する情報をもとにした事前の避難により、住宅が全壊するなどしたが、人的被害はなかった。

愛知県豊川市御津町の事例

①土砂流出状況

住民は事前に避難して被害を逃れた

②被災箇所全景

災害発生場所

【降水量の時間変化と情報等の発表状況】

6月2日6:52→大雨注意報 6月2日10:43 大雨警報 6月2日19:25 土砂災害警戒情報 6月2日20:00 豊川市で避難指示[6/2 20:00] 避難開始[6/2 20:30頃] 災害発生(推定)[6/2 21時頃]

山口県周南市福川地区の事例

①7月1日 住宅裏の埋塞

②7月1日 車両の被害

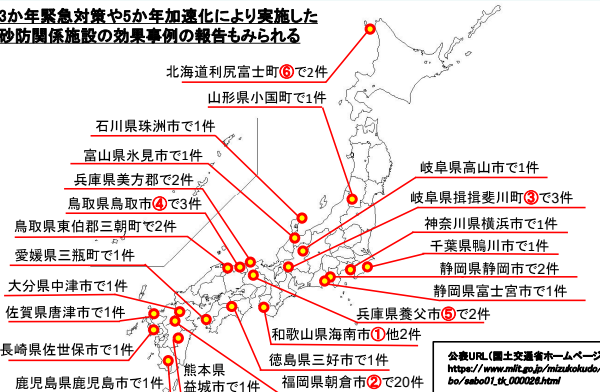
【降水量の時間変化と情報等の発表状況】

6月30日8:07→大雨注意報 6月30日17:52 大雨警報 6月30日23:10 土砂災害警戒情報 7月1日0:15 周南市で避難指示[7/1 0:15] 自主避難開始[6/30 18:00頃] 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ(九州北部)[6/30 10:00] 災害発生(推定)[7/1 1時頃] 土砂災害警戒情報発表[6/30 23:30]

令和5年は、短時間で多量の降雨等が確認された箇所において 53件※の被害軽減効果報告があった

※令和5年10月末時点

3か年緊急対策や5か年加速化により実施した
砂防関係施設の効果事例の報告もみられる



①<5か年加速化による効果事例>

かいなん はたがわ

和歌山県海南市(幡川1)

災害発生日 : 令和5年6月2日
発生事象 : がけ崩れ
土石流捕捉量 : 約10m3



②<5か年加速化による効果事例>

あさくらし あかたにがわ

福岡県朝倉市(赤谷川)

災害発生日 : 令和5年7月10日(推定)
発生事象 : 土石流
土石流捕捉量 : 約100,000m3 (19基の砂防堰堤による捕捉量)



③<砂防事業による効果事例>

いびぐん いびがわちやう せとだに

岐阜県揖斐郡揖斐川町(瀬戸谷)

災害発生日 : 令和5年8月14日(推定)
発生事象 : 土石流
土石流・流木捕捉量 : 約4,600m3



④<R2災関で整備した堰堤>

きただにがわ

鳥取県鳥取市(北谷川)

災害発生日 : 令和5年8月15日
発生事象 : 土石流
土石流捕捉量 : 約10,000m3



⑤<砂防事業による効果事例>

やぶし トノ

兵庫県養父市(外野)

災害発生日 : 令和5年8月15日
発生事象 : がけ崩れ



⑥<砂防事業による効果事例>

りしりふじ

北海道利尻富士町(オチウシナイ川)

災害発生日 : 令和5年9月28日
発生事象 : 土石流
土石流捕捉量 : 約46,900m3
(2基の砂防堰堤による捕捉量)



【施設効果事例】幡川1地区 急傾斜地崩壊防止施設 (和歌山県海南市)

位置図

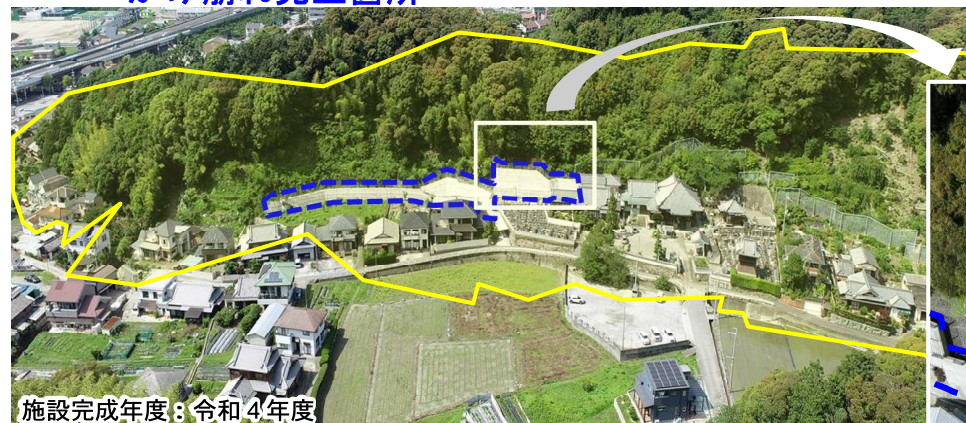


○令和5年台風第2号に伴う大雨によりがけ崩れが発生したが、国土強靱化対策として和歌山県による急傾斜地崩壊防止施設が整備されており、崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

発生日 : 令和5年6月2日
降雨状況 : 連続雨量 209mm (6月1日19時~2日24時)
時間最大雨量 28mm (6月2日 9時~10時)

発生箇所 : 和歌山県海南市 幡川1

全景 がけ崩れ発生箇所



近景 土砂抑制状況



急傾斜地崩壊防止施設 (落石防護柵及び擁壁)
土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

擁壁が崩壊土砂を捕捉。家屋被害等を防止した。

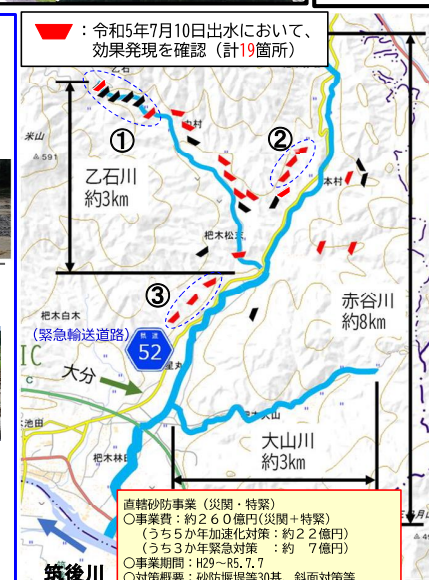
【施設効果事例】筑後川水系赤谷川(福岡県朝倉市)

赤谷川流域では、甚大な被害を受けた平成29年7月九州北部豪雨災害以降、直轄砂防事業（災関・特緊※）にて砂防堰堤等を集中的に整備し県に施設移管を行った。令和5年7月10日出水で大量の土砂・流木が発生したが、それらの施設が効果を発揮し、土石流及び土砂洪水氾濫による被害を防いだ。

※(直轄)砂防災害関連緊急事業・(直轄)特定緊急砂防事業

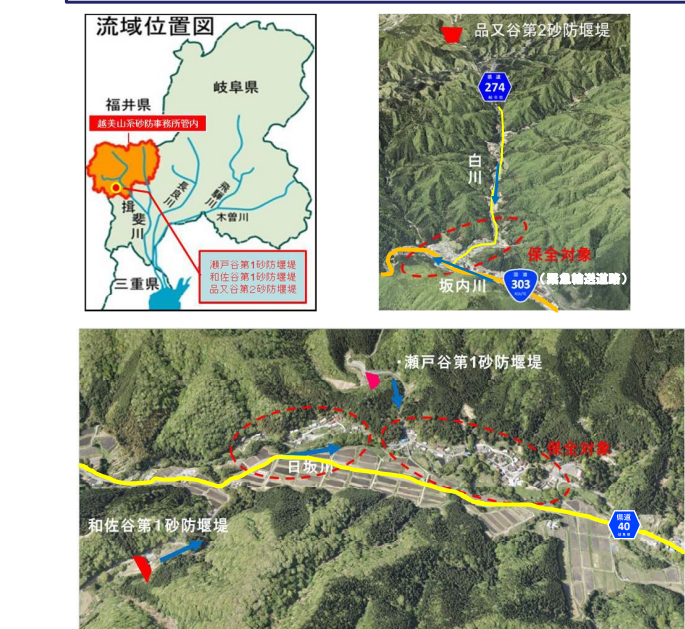


【参考】事業実施中にも繰り返し効果発現を確認



【施設効果事例】越美山系砂防事務所管内(岐阜県揖斐郡揖斐川町)

発生日 : 令和5年8月15日~16日の間
降雨状況 : 累加雨量 547mm (8月15日17時時点)
発生箇所 : 岐阜県揖斐郡揖斐川町
状況 : 越美山系砂防事務所管内において、令和5年台風第7号の影響により、累加雨量約550mmを記録、巡視点検を実施した結果、3基の堰堤で土砂・流木を捕捉し下流の集落等を保全。



【施設効果事例】北谷川砂防堰堤(鳥取県鳥取市佐治町尾際)

災害発生日：令和5年8月15日
降雨状況：連続雨量 589mm (8月15日0時～16日4時)
時間最大雨量 77mm (8月15日8時～9時)
※佐治雨量観測所
発生箇所：鳥取県鳥取市佐治町尾際
崩壊状況：土石流捕捉量 約10,000m³
状況：8月15日の台風第7号豪雨により土石流が発生したが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。
下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。



土石流発生前 (R4年3月)



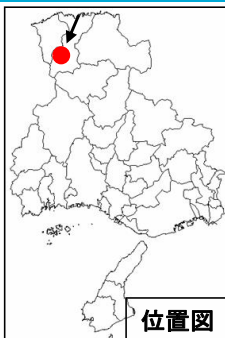
土石流発生直後 (R5年8月17日)



おおたに ひがしたにがわ

みかた ぐん か み ちよう お じろ く おおたに

【施設効果事例】大谷東谷川砂防堰堤(兵庫県美方郡香美町小代区大谷)



災害発生日：令和5年8月15日(推定)
降雨状況：連続雨量 280mm (8月14日 21時～ 15日 20時)
時間最大雨量 64mm (8月15日 2時～3時)
発生箇所：兵庫県美方郡香美町小代区大谷
崩壊状況：土石流捕捉量 (610m³)
状況：8月15日の台風7号に伴う大雨により土石流が発生したが、平成27年度に整備していた砂防堰堤が土石流及び流木を捕捉し、下流の人家84戸、公共施設等への被害を事前に防止した。

土石流発生前

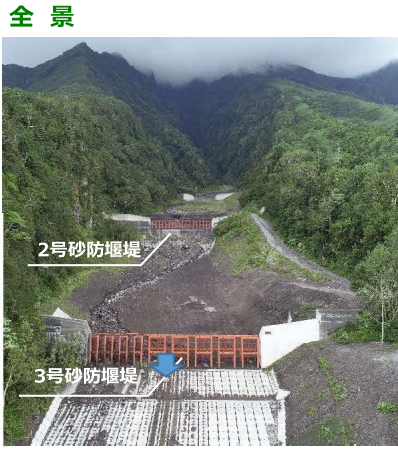


土石流発生直後



保全対象





災害発生日 : 令和5年9月28日
降雨の状況 : 連続雨量 38.5mm
(9月28日13時~29日12時)
時間最大雨量 21.5mm
※本泊雨量観測所
発生箇所 : 利尻郡利尻富士町字雄忠志内
捕捉量 : 24,200 m³
状 況 : 低気圧通過に伴う豪雨により土石流が発生しましたが、砂防施設が土石流を捕捉し下流地区への被害を未然に防止しました。



土石流発生前(令和5年6月12日 撮影)



土石流発生後(令和5年9月29日 撮影)

【参考資料】令和5年土砂災害発生状況 都道府県別内訳

地 域	都 道 府 県	発 生 件 数
○北海道	北 海 道	17件
○東北	青 森 県	1件
	岩 手 県	10件
	宮 城 県	2件
	秋 田 県	10件
	山 形 県	1件
	福 島 県	60件
○関東	茨 城 県	3件
	栃 木 県	3件
	群 馬 県	0件
	埼 玉 県	0件
	千 葉 県	275件
	東 京 都	0件
	神 奈 川 県	51件
	山 梨 県	2件
	長 野 県	22件
○北 陸	新 潟 県	42件
	富 山 県	12件
	石 川 県	37件
○中 部	岐 阜 県	19件
	静 岡 県	59件
	愛 知 県	45件
	三 重 県	5件

地 域	都 道 府 県	発 生 件 数
○近 畿	福 井 県	11件
	滋 賀 県	2件
	京 都 府	29件
	大 阪 府	13件
	兵 庫 県	23件
	奈 良 県	7件
	和 歌 山 県	134件
○中 国	鳥 取 県	41件
	島 根 県	67件
	岡 山 県	1件
	広 島 県	13件
	山 口 県	62件
○四 国	徳 島 県	6件
	香 川 県	0件
	愛 媛 県	7件
	高 知 県	38件
○九 州	福 岡 県	40件
	佐 賀 県	90件
	長 崎 県	43件
	熊 本 県	15件
	大 分 県	11件
	宮 崎 県	29件
	鹿 児 島 県	70件
○沖 縄	沖 縄 県	43件

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 土砂災害対策室
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3中央合同庁舎3号館2階
TEL:03-5253-8470 (R6.3)